

会報 No.166

令和6年1月31日
一般社団法人岡山県手をつなぐ育成会

新春を迎えて

岡山県手をつなぐ育成会副会長 二木 幸子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、県育成会の事業につきましても、ご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。昨年は、5月に新型コロナウイルスの感染分類が変更になり、行動の制限なども緩和された一年でした。長い間、自粛を余儀なくされ、止まっていた時間が少しずつ動き始めたように感じました。

新しい年は、と希望を胸に迎えた新年でしたが、元日の日の夕方、予想もしなかった出来事が起こりました。テレビから流れてくる被災地の様子に、ただただ呆然とし、心の痛む年の始まりとなりました。改めて、自然の力の大きさと、災害は時を選ばないということを感じました。震災の被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。一日でも早く、穏やかな日常を取り戻すことができるように、私たちができることを考え、取り組みたいと思います。

この出来事をきっかけとして、「我が家の防災計画」について、しっかりと考え、備えることの大切さも感じました。どうぞ、今一度、各ご家庭での話し合いや、避難場所の確認等をお願いいたします。岡山県が作成しています「災害時サポートブック」など災害時対応マニュアルについて、防災情報の提供をいたします。事務局までお問い合わせください。災害発生から時間とともに薄れていく命の危機に対する準備を、再度確認する機会にできたらと思います。

令和六年はコロナ禍で低迷していた地

域力を、少しずつ取り戻す年になればと思います。親の会、本人の会などの活動が元気になり、離れていた距離が近くなり、寄り添いあえる場所が戻ってきますように。

県育成会としましては、皆さんが必要とされている情報の提供や、会員同士の交流の場としての研修会等の実施、地域での相談事業など多くの事業が計画されています。また、会員の減少や高齢化により、地域での活動に元気がなくなってきたり、というお話もよく聞かれます。今まで各地域で築かれてきたものを大切にしながら、新しい視点や考えを取り入れながら、それぞれの課題に対しての対応策を、考えていかなければならないと感じています。

どうぞ、周りの方にもお声がけをいただき、より多くの方のお力で、県育成会を支えていただきますようよろしくお願いいたします。知的障害、発達障害、重症心身障害のある本人や家族の皆さんが、住んでいる地域の中で心穏やかに生活できるように、心を一つに繋がりを大切にしたいと思います。

今年の干支は「辰」です。皆さんのご健康とご活躍心からお祈りし、辰のように凛として力強く毎日を過ごされますようにと願いを込めて、新しい年のご挨拶とさせていただきます。



目次

○新春を迎えて	1
○育成会県大会報告	2
○要望事項	5
○活動報告	6
○受賞者の紹介	7
・スペシャルオリンピックス	
・広告	
○生活サポート総合補償制度	8



ホームページ <https://oka-iku2.sakura.ne.jp>
e-mail oka-iku@kirameki-plz.com

津山手をつなぐ親の会・本人部会なかまあずです。昨年よりみんなでポッチャを始めました。おうちの人と一緒に楽しんでいます。

手をつなぐ育成会岡山県大会

(高梁・新見大会)

今年の県大会は、高梁市と新見市の共同開催で、高梁市を会場に開催しました。大会は、一般大会を高梁市が、本人大会を新見市が中心になって運営を行いました。全体で四四六人の参加があり、多くの関係団体やボランティアの方にもご協力をいただきました。開催地からの経過報告と有礼、大会に参加しての報告を掲載します。

高梁市手をつなぐ育成会

会長 生田夏実

第四十三回手をつなぐ育成会岡山県大会(高梁・新見大会)に向け、令和五年一月二十四日、最初の準備会が開かれ、その後、四回の実行委員会を重ね準備を進めてきました。本大会は初めての高梁市・新見市の共同開催で、連絡、調整、作業の分担等、新たな業務がありました。新見市からの快い協力を得て問題なく進むことができました。また会場が飲食不可能なこと、感染の危険性も踏まえ、午後から開始の大会と決まりました。スローガンは障害のある人達の地域での生活、社会参加を考えるため「地域での自立的な生活を目指して」地域の理解／交流・協働を通して」です。



シンポジウム

大会当日は朝から霧が深く、大会が始まる頃にはすっきり晴れ、周囲の山々の紅葉が映える爽やかな天気となりました。一般大会は、功労者・奨励者表彰からでした。諸先輩方々の熱い思いに敬意を表します。講演は社会福祉法人若葉 名誉理事 副島宏克氏に賜りました。体験をさせること、地域と繋がりを持つことが「親離れ、子離れ」の第一歩、その大切さを痛感しました。またシンポジウムは、NPO法人COLOR理事長 川上路代氏をコーディネーターとして、岡山県健康の森学園支援学校 山崎好美氏、社会福祉法人D.P.P.

岡田恵理也氏、たかはし松風寮家族会 太田井百合子氏に、それぞれのお立場より、提言を頂きました。講演、シンポジウム共に、障がいがあるなしに関わらず、すべての人が普通に生活できる社会を目指して歩んでこられた実体験からのお話に大変感銘を受けました。

最後に、岡山県手をつなぐ育成会をはじめ後援団体等、大変多くの方々からお力添えご協力を頂いたことに深く感謝致します。

新見市手をつなぐ育成会

会長 太田隆正

令和五年十一月二十六日、「みんなで協力・楽しい交流」を本人大会のスローガンとして、第四十三回手をつなぐ育成会岡山県大会が高梁市文化交流館で開催されました。本人大会には二百八人の皆様にご参加いただき、交流の輪を広げ、実りある大会となりましたことに心より感謝いたしますとともに、厚くお礼申し上げます。

本人大会は、松山ワークセンター(望の丘ワークセンター)の利用者による銭太鼓から華やかにスタートしました。合言葉である「感謝」の思いがたくさんこもった銭太鼓の音に会場が温かな雰囲気になりました。

本人発表では、安達弘さん(新見友情の会)、

相原弘子さん（倉敷マスカットの会）、荒木康弘さん（吉備路友だちの会）の三名が生活の様子や自分の思いを堂々と発表され、勇気と元氣を与えてくれました。

分科会では地域で働く場所が少ないことや物価高騰など、日ごろ感じていることについて、高梁市・新見市の福祉課の担当者と話し合う機会を設け、熱心に意見交換をしたり、協議したりすることができました。

またリクリエーションでは、高梁子ども神楽クラブの皆さんにもご協力いただき、備中神楽の勇壮な舞に感動し、高梁市の郷土芸能を楽しんでいただきました。吉備国際大学サークルは、迫力があるプラスバンドの演奏で会場を盛り上げてくれました。演奏が終わると会場からはアンコールのかけ声が上がリ、演奏を通じてステージと会場が一体となりました。

終わりにりましたが、本人大会の開催にあたりまして、多くの皆様方にお力添えをいただき、たいへんお世話になりました。大会に賛同していただき快く協力いただきました出演関係者の皆様、ご参加いただきました県会員の皆様はこの場をお借りして心より厚くお礼申し上げます。今回の大会で得られた成果や貴重な経験を今後の活動に生かして参りたいと思います。皆様、ありがとうございました。



高梁市・新見市の福祉課の方との話し合い

高梁市をつなぐ親の会

会長 藤 森 明 美

第四十三回手をつなぐ育成会岡山県大会（高梁・新見大会）が、十一月二十六日に行われました。コロナも五類となりましたが、会員の高齢化、会員数減少もあり、以前のような大会も難しくなりました。そのような状況の中、今回は初めて新見市との合同開催となりました。

大会スローガンを、一般大会では、地域での自主的な生活をめざして「地域の理解／交流・協働」を通してとし、社会福祉法人若葉の副島宏克氏

による「障害のある人が地域で豊かに生活するために大切なこと」をテーマに講演していただきました。シンポジウムでは、自立的な生活と地域と関わりながらの生活・就労等の取り組みをテーマに、助言者に副島氏、コーディネーターとしてNPO法人COJOCの川上路代氏により話し合いを進めていただきました。

本人大会では、「みんなで協力・楽しい交流」をスローガンとして本人たちが直接行政の方と話す：という初めての試みの中、活発な話し合いが持てました。高梁子ども神楽、吉備国際大学吹奏楽サークルの演奏も楽しめました。

午後からの開催で時間制限もありましたが、内容の濃い大会になったと思います。二市合同で、それぞれの行政・支援団体・親の会が協力することにより、盛大に大会を終えることができました。各地から多数参加していただいたことに感謝し、なお一層の研鑽を重ね、それぞれの活動を精進してまいります。ありがとうございます。

ワークセンター阿新 保護者会

会長 林 富 男

手をつなぐ育成会岡山県大会（高梁・新見大会）に参加しました。

実行委員の皆さんは、大会までの事前準備、そ



一般大会表彰式 感謝状の贈呈

令和6年度 育成会の大会

岡山県大会

11月17日(日) 津山市 会場：美作大学

中国・四国大会香川大会

10月27日(日) 高松市
* 26日(土)は交流会(懇親会)のみ
を開催

全国大会秋田大会

10月12日(土)・13日(日)
秋田市



本人大会実行委員長 開会挨拶

して当日のお世話など大変ご苦労さまでした。細部にわたりご配慮いただき、お迎えくださいましたことを感謝申し上げます。福祉ワークセンター阿新では、利用者・職員・保護者の十八名が参加させていただきました。

本人大会の発表では、自分の趣味や特技を生かして前向きに目標にいく姿が強く感じられる発表で、とてもよかったです。学習会では、障がい者スポーツの一つとしてフライングディスクを紹介していただきました。今後の保護者会の活動に取り入れていこうと思っています。

一般大会の会場に行くと、「自立的な生活」地域と関わりながらの生活・就労等の取り組み」のシンポジウムが行われていました。社会福祉法人若葉 名誉理事 相談役 副島宏克氏の「親がいる時の自立と、一人でいる時の自立は違う、早く親離れ子離れして下さい。」とのお話は、なかなか子離れのできない親である私にとって、頭が痛かったです。我が子にとって、また障がいのある人たちにとって、何が一番大切なのかを考えさせられる内容でした。

関係者の皆様、誠にありがとうございました。

今年度の要望事項

急激な物価高騰に対する対応

- ・急激な物価高騰に対して、障害のある人が安心して暮らすため、また事業所がエッセンシャルワークとしての機能を果たしていくためにも経済的支援を

共生社会に向けての啓発活動

- ・相模原市の障害者施設での悲惨な事件を風化させないための啓発活動を
- ・あいサポート運動やヘルプマーク・ヘルプカードの普及・啓発活動を

安心・安全な地域生活支援、高齢化への対応

- ・「地域生活支援拠点等の整備」の促進
- ・医療関係者に障害者理解を図る取り組みを
- ・市町村による障害のある人達の余暇活動の支援

レインボータートル



久しぶりにみんなで集まってクリスマス会をしました。モルックやビンゴゲーム、プレゼント交換をしました。

特別支援教育の充実

- ・居住地校交流による相互理解の促進
- ・就労定着に向けての対策
- ・重度生徒の進路先（生活介護事業所等）の確保
- ・各市町村で、小・中学校の保護者を対象にした障害福祉サービスの研修会の実施
- ・教育関係—福祉関係—保護者の「トライアングル・プロジェクト」による連携

今年度は、11月に自民党と公明党の議員の方に陳情を行いました。

相談支援体制の整備

- ・全市町村に相談支援事業所の設置を
- ・高齢化が進むことへの不安があり、セーフティネットとしての相談支援体制の充実を
- ・職員増と報酬単価の引き上げを、国へ働きかけ

自然災害への対応

- ・いつ発生するかわからない災害に対して、危機意識が薄れないよう、研修、個別の避難計画の作成、福祉避難所の周知と公開を

権利擁護

- ・障害者虐待防止のための対応
- * 虐待防止委員会の定期的な開催
- * 市町村の相談窓口の養護者に寄り添った対応
- * 必要に応じ養護者からの切り離しと福祉サービス利用の周知
- ・強度行動障害のある人への支援

障害者の労働と雇用

- ・キーパーソンとなる「相談できる人」がいて、「合理的配慮」が話し合える雰囲気職場
- ・自治体での障害者雇用の促進・・・知的障害者の特性に合った働き方を

国への要望

- ・年金額引き上げ、住宅扶助・医療扶助的な加算給付の創設
- ・人材確保・・・6年度報酬改定での職員増と給与改善

*** 要望書の全文については、ホームページをご覧ください**

会員全体に案内をする研修会は、対面方式での研修会を行いました。多くの方にご参加いただきました。ありがとうございます。

権利擁護研修会

「親なき後の地域生活 住むところについて」

講師：又村 あおい 氏

(全国手をつなぐ育成会連合会
常務理事兼事務局長)

おかやま知的障害児者生活サポート
協会との共催による「高齢化の問題」について3年計画の研修会で、2年目の研修会を行いました。

障害のある人の『居住支援』のあり方について、福祉施策・サービスの視点から、また相談支援の重要性から具体例を挙げていただき、考えることの多い講演でした。

特設研修会

「障害者虐待防止」

～より良い支援をするために～

講師：野澤 和弘 氏

(植草学園大学副学長
毎日新聞客員編集委員)

「障害者虐待防止法」が制定されて10年以上たちましたが、虐待件数は増加傾向です。会員からの多くの要望を受け「障害者虐待防止」の研修会を開催しました。

障害者の権利擁護制度、虐待防止法、障害特性と支援者の問題、人口減少が進む中での福祉問題など幅広い課題を提起いただきました。

＝特別支援学校訪問＝

「特別支援学校」を、地域連絡協議会の役員を中心に訪問しました。現在までに、「岡山東、岡山西、岡大附属特別、東備、西備、誕生寺」支援学校の訪問を終えました。この訪問で育成会の取り組みや課題についての話を聞いていただきました。

＝療育相談懇談会＝

特別支援学級在籍児の保護者を対象に、玉野市、浅口市、瀬戸内市、津山市で療育相談懇談会を行いました。川崎医療福祉大学、美作大学、環太平洋大学の先生と各地区の相談支援専門員の方に助言者として相談を受けて頂きました。

「令和5年大雨」にかかる義援金

45団体・個人より617,090円の義援金が集まりました。ありがとうございました。

集まった義援金は、12月15日に、全国手をつなぐ育成会連合会に全額送金いたしました。被災地会員には、全国育成会より届けていただきます。

.....
元日に発生した「能登半島地震」による被害が激甚災害に指定されました。年2回になりますが、義援金の募集をさせていただきます。(依頼文書は送付済み) ご協力をお願いします。

行動障害療育研修会

「困った行動に出会ったときに

～どう支援する？ どう支える～

講師：桑原 綾子 氏

昭和53年に始めた「行動障害療育研修会」が第47回になりました。

今年度は、今治市で『個々に応じた支援』を展開されている「ライフサポートここはうす」の桑原総括所長の講演を企画しました。(1月29日開催)

岡山ももの会の活動



10月に日帰り旅行で『神戸どうぶつ王国』に行きました。動物とふれあい、新幹線にも乗れて楽しかったです。

受賞された方々 おめでとうございます

全国手をつなぐ育成会連合会会長表彰

岡山県手をつなぐ育成会理事／吉備の里家族の会会長 福田 耕 治 様

中国・四国地区手をつなぐ育成会会長表彰

岡山県知的障害者相談員協議会会長 妹 尾 宗 夫 様

岡山ももの会（本人の会） 武 田 久 幸 様

〔感謝状贈呈〕

青山商事株式会社井原商品センター（障害者雇用）

育成会活動にご尽力、ご支援をいただきましてありがとうございました。



スペシャルオリンピックス日本・岡山 (SON・岡山)

“明日は今日より良い笑顔で！ 前へ進め！”

2023年6月開催「2023年SO夏季世界大会・ベルリン」へはバドミントン、陸上競技で各1名のアスリート、コーチ1名を岡山から排出し、世界の舞台で輝いて参りました。

ようやく他県やボランティアの方にもご参加いただき、地区競技会が6競技開催できました。何よりアスリートの笑顔が活き活きと輝いていました。

2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームは分散開催となり11月18日～19日長野会場にはアスリート2名を輩出いたしました。2024年2月11日～12日は北海道、2月24日～25日は長野で開催されそれぞれ参加します。2年前に開催中止となり悔しい思いをした分も思いっきり頑張っております。

スペシャルオリンピックスは知的障害のある人たちに年間を通じて、スポーツトレーニングと競技会を提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です
知的障害のある方々のご入会をお待ちしています！

HP：<http://blog.livedoor.jp/son.okayama/>

スペシャルオリンピックス日本・岡山

名誉会長 松田久 会長 吉田大助

Tel:086-206-2071 Mail:okayama@son.or.jp



『2023年第14回岡山地区大会・陸上』

あなたの暮らしをサポート

お買い物代行サービス

おっかい
タクシー

両備タクシーセンター

TEL:086-262-3939



対象エリア
岡山市内
※一部地域
を除く

◀ 詳しくはWEBで

簡単4STEP

- ① お電話でご注文
- ② ドライバーが訪問し、ヒアリング
- ③ お客様の代わりにお買い物
- ④ 商品をお届け♪



知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償
※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金
※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償
※プランによって補償します

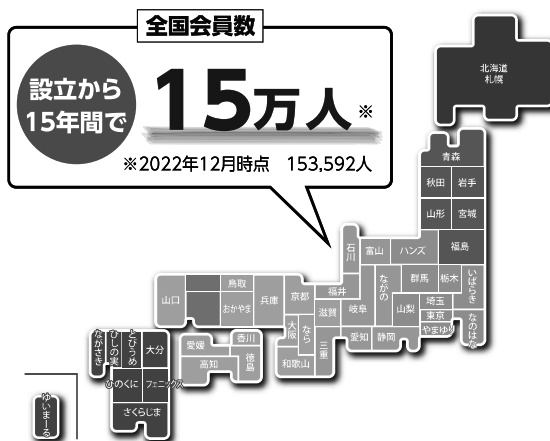
※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約15万人のみなさまに
ご利用いただいている補償制度です。



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

ジェイアイシーウエスト株式会社
〒540-0026 大阪市中央区内本町1-1-1 OCT 7階
TEL : 06-6941-5187 FAX : 06-6944-1728
https://jicwest.com/
受付時間：午前10時～午後4時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
大阪プロチャネル営業部
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 36階
TEL : 06-7223-2010
受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

おかやま知的障害児者生活サポート協会
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1
岡山県総合福祉ボランティア・NPO会館2F
一般社団法人岡山県手をつなぐ育成会内
TEL : 086-801-3890 FAX : 086-801-3891

2022年12月現在の内容です。(D-006317 2024-03)